

令和7年度

利用の手引

自然と生活と科学

～豊かな体験 高まる感性～



山形県神室少年自然の家
指定管理者(株)ひかり

く も く じ

1	基本的事項	1
2	指定管理者運営について	2
3	施設の概要	4
4	利用について・キャンセルポリシー	4
5	経費	6
6	自然の家での生活	8
7	自然の家を有効に使っていただくために	11
8	プログラムの作成にあたって	12
9	主な活動内容	15
10	野外活動エリア概略図	19
11	館内平面図	20
	(付)提出書類様式	21
	令和7年度 年間計画表	29

所 章

将来に向かって希望と理想に燃え、健康で明るい少年たちと団結し、
躍進・努力する少年の家を表現。

中心部に「少」の文字を図案化した。

(デザイン 山形市 遠藤克也さん)

1. 基 本 的 事 項

1 基本コンセプト

(1) 神室少年自然の家の理念

昭和60年7月に開館した神室少年自然の家は、青少年を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活を通じてその情操や社会性を豊かにし、心身を鍛錬することで健全な青少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設です。学校や家庭では得難い体験をさせることで、自然の恩恵に触れ自然に親しむ心を育てるとともに、集団宿泊生活を通じて、規律、協同、友愛、奉仕の精神を養うほか、野外活動を通じて心身を鍛錬することなどを教育目標としています。

(2) 運営方針

- ① 小・中学校や幼稚園・保育所に加え、PTAや子ども会育成会等に対しても充実した体験活動による学びの機会を提供することにより、利用対象の拡大を図りながら健全な青少年等の育成に役割を果たしていきます。
- ② 利用者の満足度向上や利用者増加を図るため、豊かな自然や地域の人材等、地域資源を活用しながら引き続き魅力ある活動プログラムや企画事業の開発・提供に努めます。

また、地域と一体となって活動プログラム等を開発・運営し、活動エリアを地域全体に広げながら、より地域に根ざした施設として機能充実に努めます。

- ③ 幅広い年齢層の施設利用やリピーターの増加を図るとともに、利用者間の交流や地域の他機関との連携を進め、地域の体験活動拠点施設として機能の充実に努めます。



2. 指定管理者運営について

1. 指定管理者 株式会社ひかり 最上郡鮭川村大字石名坂84番地の1

2. 指定の期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（指定管理第2期目）

3. 基本的な遵守事項

山形県の基準を満たした施設の管理運営を行うとともに設置基準条例及び管理規則のほか、法令、条例、規則等に従う。また、県民の平等な利用を確保するとともに、特定の団体や個人に有利な管理運営を行わないように留意する。

4. 運営方針

- (1) 山形県知事と株式会社ひかりとは、山形県神室少年自然の家の管理及び運営に関する業務について、包括協定を締結し、相互に協力連携し必要に応じて所長決済のもと自然の家の運営に努める。
- (2) 神室少年自然の家の基本コンセプトに沿って、指定管理第1期目の運営実績を継承しながら、職員一同使命感を持って運営にあたる。
- (3) 全ての利用者に対し平等で公平なサービスを提供するとともに、施設環境の整備や合理的配慮を含め、利用者に寄り添った対応を行う。
- (4) これまでの運営ノウハウと経験豊富な人材を活用し、多様な利用者が満足できるプログラムの開発、SDGsの理解と実践、地産地消も意識した良質な食材による栄養バランスのとれた食事の提供を目指す。
- (5) 建設業を行っている自社企業の協力を得ながら、利用者が安心して利用できるよう施設や設備の適切な維持管理を実施する。
- (6) 幅広い年齢層の利用拡大を目指し、地域資源を活かした、神室サポーターや関係団体と積極的に連携した事業を実施する。

5. 業務の範囲

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ア 施設の利用許可等に関する業務 | カ 研修支援に関する業務 |
| イ 利用料金の徴収に関する業務 | キ 施設の運営、維持管理に関する業務 |
| ウ 野外活動等費用の徴収に関する業務 | ク 危機管理業務 |
| エ 利用者の宿泊に関する業務 | ケ 食堂の運営に関する業務 |
| オ 利用者サービス等に関する業務 | コ 事業の実施支援等の指導業務 |

6. 運営基本構想

青少年教育施設として、また、開かれた施設として神室少年自然の家を運営していく。

- (1) 青少年教育施設としての役割「設置目的」
神室少年自然の家は、体験を通して自然のすばらしさや神秘を感じ取らせるとともに、多くの仲間と同じ屋根の下で寝食を共にさせることにより、心豊かな青少年を育成するために設置された社会教育施設として「自然と生活と科学」を基本テーマに掲げ、次世代を背負って立つにふさわしい青少年の育成を目指す。
- (2) 開かれた新しい神室の創造
「全ての世代の人」が「美しく安全なフィールド」と「本物の体験」で「じぶん時間」を楽しめる場所を創る、というコンセプトで事業を展開し、生涯学習の起点として人々が集まり自然とつながるスペースとしての新しい神室の姿を目指す。

【運営構想図】



7. 管理運営及び利用に関する規定（この規定は、令和7年4月1日から施行する。）

- (1) この規程は、山形県青少年教育施設条例、教育機関の組織及び運営に関する規則に基づき、山形県神室少年自然の家管理運営及び利用に関し必要な事項を定めることを目的とする。
- (2) 神室少年自然の家を利用できる者は、別記「利用について」に該当する者（利用団体）とする。
- (3) 神室少年自然の家の利用を希望する団体は、別記様式の利用許可申請書により神室少年自然の家指定管理者「株式会社ひかり」に申請する。
- (4) 神室少年自然の家指定管理者「株式会社ひかり」は、利用の申し込みがあった場合には、その内容を検討し、必要に応じて研修計画について指導及び助言を行うとともに、施設、設備等の状況を勘案して利用の可否を決定し、当該利用団体に通知する。
- (5) 神室少年自然の家においては、特定の政党を支持し、またはこれに反対するための政治的教育、その他の政治的活動、特定の宗教を支持し、またはこれに反対するための宗教的教育、その他の宗教的活動、もっぱら営利を目的とする活動、その他所長が不適当と認めた活動等を行ってはならない。
- (6) 利用団体は、神室少年自然の家の設置目的、教育目標、利用団体（計画する側）の思いや願いに沿った集団宿泊生活、野外活動を体験させるため、事前に計画を作成し、研修担当に相談する。
- (7) 利用団体の入退所は、団体ごとに全員そろって行う。また、入退所時間は原則として、9時から15時までとし、入所式後、直ちに利用の心得に関するオリエンテーションを受ける。
- (8) 利用団体は、原則として別に定める標準生活時間により生活する。
- (9) 利用団体は、宿泊室等の清潔を保つため、相互に協力して整理整頓に努める。
- (10) 利用団体の食事は、神室少年自然の家指定管理者「株式会社ひかり」の定める献立によって行うものとし、その食事代は食事料金請求書にて指定管理者に支払いをする。また、使用料は県条例に基づき、活動費は使用確認表に基づき、利用料金請求書にて指定管理者に支払いをする。
- (11) 利用団体は、故意又は過失により少年自然の家の施設・設備を破損又は亡失した時は、その責任を負う。
- (12) 利用団体は、神室少年自然の家の諸規則（「利用の手引」掲載事項）を守らなければならない。神室少年自然の家指定管理者「株式会社ひかり」は、本規定に違反したり、風紀及び秩序を乱したりすることがあった場合、所長と協議の上で退所を命ずることができる。
- (13) 非常変災その他やむを得ない事情がある時は、神室少年自然の家指定管理者「株式会社ひかり」は臨時に利用団体の受け入れを行わないことができる。
- (14) 神室少年自然の家指定管理者「株式会社ひかり」は、個人情報の保護の重要性を認識し、公の施設の管理に関する事務を処理するための個人情報の取扱いに当たっては、個人情報の保護に関する法令等を遵守し、本施設を管理運営するにあたり知り得た市民等の個人情報について、漏洩、滅失又は毀損の防止等、個人情報の適切な管理のために必要な措置等を講じる。また、運営及び維持管理業務に従事している者又は従事していた者は、個人情報を他人に知らせ、又は不当な目的に利用しない。さらに、業務の実施において知り得た事項を第三者に漏らさない。指定管理者でなくなった後も同様とする。
- (15) 神室少年自然の家指定管理者「株式会社ひかり」は、災害等緊急時には、山形県・真室川町、医療機関、関係機関等と協力的に対応を図る。また、緊急時に適切な対応が図れるよう、利用者の避難、誘導、安全確保及び必要な通報等についての本施設に関する対応マニュアルを作成する。注意報や警報が発令された場合には、直ちに利用者にもその旨を伝達できるよう、訓練及び放送設備の保守等を適切に行う。応急処置や心肺蘇生法、AEDの使用法などの救命活動及び災害時の対応、避難誘導等について、最低でも年1回の研修を行い、施設に配置された職員全員が受講する。さらに、施設内の建物・設備、備品に異常がないか適宜巡回点検を行う。また、備品については、使用前後の点検に加え、定期点検を行うとともに。適宜施設内外の巡視を行い、危険と思われる状況があれば安全対策を取る。

3. 施設 の 概 要

1 敷 地 174.075m²(サッカーコートの約24.4倍)

2 主な野外活動施設

- ① ふじの木キャンプ場・・・50名程度利用可、屋根付き炊事場（たき火可、小テーブル10台）、蛇口8カ所
簡易水洗トイレ、営火場（キャンプファイヤー、たき火）、テント約8張設営可
雨天野外炊飯可、ドラム缶風呂体験可、ドラム缶利用ピザ焼き可
- ② ならの木キャンプ場・・・100名程度利用可、炊事場（テーブル10台）、蛇口10カ所、簡易水洗トイレ
営火場（キャンプファイヤー、野外炊飯、たき火）、テント約30張設営可
ピザ窯（2つ、60人程度利用可）、炭焼き小屋、小雨野外炊飯可、ドラム缶風呂体験可
- ③ アカゲラの森キャンプ場・30名程度のソロビバーク体験（野宿）に対応、トイレはありません。
- ④ 三滝コース・・・・・・自然の家からバスで登山口まで移動、自然の家までのハイキング（3～4時間）
- ⑤ めんごハイキングコース・自然の家の敷地内を散策しながらのハイキング（1～1.5時間）
- ⑥ 川遊びAポイント・・・・（中学年～高学年向け）水深の深い所でダイビング、浅い所で生き物探し
ボディラフティング（ライフジャケットを着用で川流れ）
- ⑦ 川遊びBポイント・・・・（高学年向け）堰堤からダイビング、堰堤で集合写真、ボート体験
- ⑧ 川遊びCポイント・・・・（幼児・低学年向け）生き物探し、堰堤で集合写真、ボディラフティング
※A・Bポイントは、徒歩で移動可。Cポイントは、車移動またはバス申請必要。
- ⑨ スキー場・・・・・・春・夏・秋：散策、ネイチャーゲーム、テント設営等
冬：雪遊び（スノーチューブ、雪板、けつつぞり、動物の足跡探し等）

3 主な屋内施設

※備え付けの冷房はありません。

- ① 宿泊室・・・・・・全室和室10室 ※「利用の手引」館内平面図を参照
定員200名、指導者室2室（1室5名）
- ② プレイルーム・・・・（じゅうたん敷き）入・退所式、レクリエーション、キャンドルサービス、
映写会（100インチスクリーン）等を使用
- ③ 第1研修室・・・・・・60名程度の会議、雨天時のクラフト作り
- ④ 第2研修室・・・・・・30名程度の会議、雨天時のクラフト作り
- ⑤ 食堂・・・・・・96席（対面）
- ⑥ ピロティ1・2階・・・・各60名程度のソロビバーク体験（野宿）、テント泊、焼き板クラフト、
ドラム缶利用ピザ焼き可
- ⑦ バルコニー4カ所・・・・（宿泊棟）各10名程度のソロビバーク体験（野宿）、テント泊（2張）
- ⑧ 浴室・・・・・・オリオン20名程度（洗い場7）、ペガサス15名程度（洗い場5）

4. 利 用 に つ い て

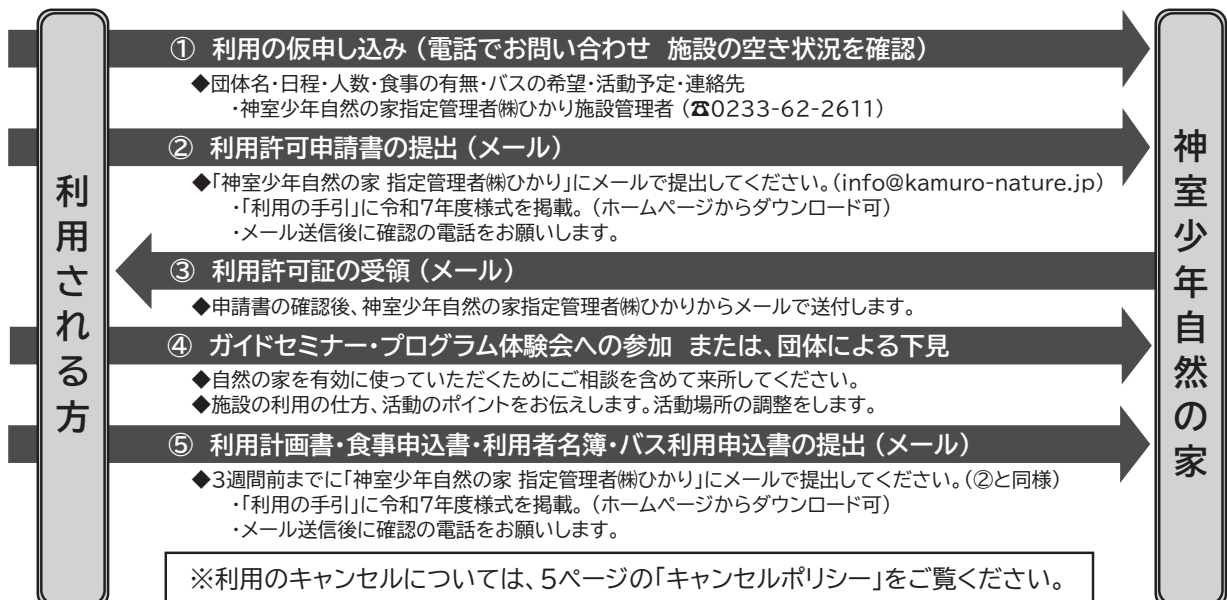
1 利用できる団体（幼・保・小・中・高校・大学・学童クラブ・子ども会・企業等の研修会・部活動・地域活動団体・家族）

- 利用目的が明確で、「株式会社ひかり」が適当と認めた団体
※政治・宗教または営利目的とする場合や、過去に違法行為を行った団体が主催する講演等はお断りします。また、
家族利用の場合、人数や他団体の利用状況との関係で利用をお断りする場合があります。

2 利用できない日

- 休所日【第1・2・4・5月曜日、第3日曜日】、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
※ゴールデンウィークの一部と海の日、スポーツの日の連休は利用可。詳しくは、巻末の年間計画表をご覧ください。

3 利用申し込みの手順



山形県神室少年自然の家 指定管理者 株式会社ひかり キャンセルポリシー

I キャンセルの際にご負担いただく内容

- (1) 利用団体様のご都合で、団体の一部または全部をキャンセルされる場合、キャンセル人数分の食材購入に関する費用（HP、利用の手引き等に記載の食事料金）をご負担いただきます。
- (2) 施設利用料金、シーツクリーニング代、野外炊飯用具代、活動材料代等はいただきません。

II 利用団体様のうち、一部の方の利用をキャンセルされる場合

【キャンセルの際のご連絡】

- (1) 食事数の変更（利用当日の5日前12:00まで）や、それ以降の食事のキャンセル等の場合は、まず下記「お問い合わせ先」まで、お電話にてご連絡ください。
- (2) お電話にて担当者と内容について確認していただいた上で、必要書類の提出等をお願いいたします。

【キャンセルに関する期間】 利用当日の3週間前までに「利用計画書、食事申込書等」を提出した後

- (1) 利用当日の5日前12:00まで ⇒ 食事数の変更が可能（業者への食材発注業務のため）
※5日前が休所日の場合はさらにその前開所日の12:00までとなります。
- (2) それ以降の食事のキャンセル ⇒ 「5日前12:00時点の申込数分の金額」をご請求いたします。
それ以降キャンセルされた分の金額は返金いたしません。

【食事の提供数について】

- (1) ご利用時には、来所されている人数分（受付時に人数を確認させていただきます）の食事数を提供させていただきます。
- (2) 利用期間中に滞在人数の変更があった場合、その都度、事務室にご連絡ください。その時点での人数分の食事数を提供させていただきます。

III 予約した日程のご利用を全キャンセルされる場合

【全キャンセルの際のご連絡】

- (1) キャンセルが確定した段階で、下記「お問い合わせ先」まで、お電話にてご連絡ください。
- (2) お電話にて担当者と内容やキャンセル料の支払いについて確認していただいた上で、「利用取消連絡票」（HP、利用の手引き参照）をメール、またはFAXにてご提出いただきます。
- (3) キャンセル料が発生した場合は、下記銀行口座にお振込みいただくか、直接来所して現金でお支払いいただきますようお願いいたします。なお、振込手数料はお客様負担とさせていただきます。

振込先：	山形銀行 真室川支店 普通口座 413666
受取人名：	株式会社ひかり 代表取締役 庄司 光徳

IV 免責事項

- (1) 不測の事態や災害等により、神室少年自然の家側が利用団体を受け入れることができない状況となり、団体様にご予約をお断りする場合、キャンセル料はいただきません。
- (2) 不測の事態や災害等により、利用団体様の意志によらず来所できない状況が生じた場合、キャンセル料はいただきません。その際必ずご連絡くださいますようお願いいたします。

お客様のご理解とご協力を賜り、自然の家での有意義な体験と学びの場をご提供できるよう努めてまいります。当自然の家の利用申し込みの際は、本キャンセルポリシーについて、ご確認とご同意をいただいた上での申し込みをお願い申し上げます。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】 山形県神室少年自然の家 指定管理者 株式会社ひかり（営業時間：8:30～17:15）

電話：0233-62-2611 FAX：0233-62-2613 メール：info@kamuro-nature.jp

5. 経 費

※宿泊料金・部屋使用料金については、令和7年度山形県条例改正に伴う料金改定です。

1-① 宿泊利用料金（県内在住の方）

1 人 / 1 泊 に つ き		本 人	左の区分のものに伴って利用する者	
			引率指導者	同 伴 者
青 少 年 等	幼・小・中学生等	無 料	無 料	7 9 0円
	高 校 生 等	4 9 0円	7 9 0円	7 9 0円
	大 学 生 等	7 9 0円	7 9 0円	7 9 0円
	社会教育関係者	4 9 0円		
そ の 他 ・ 一 般		1, 4 1 0円		

1-② 宿泊利用料金（県外在住の方）

1 人 / 1 泊 に つ き		本 人	左の区分のものに伴って利用する者	
			引率指導者	同 伴 者
青 少 年 等	幼児(学齢に達しない者)	無 料	1, 4 1 0円	1, 4 1 0円
	小・ 中 学 生 等	4 9 0円	1, 4 1 0円	1, 4 1 0円
	高 校 生 等	4 9 0円	1, 4 1 0円	1, 4 1 0円
	大 学 生 等	7 9 0円	1, 4 1 0円	1, 4 1 0円
	社会教育関係者	1, 4 1 0円		
そ の 他 ・ 一 般		1, 4 1 0円		

2-① 部屋使用料金（1団体／1室）

○プレイルーム：1,680円	○第1研修室：770円	○第2研修室：240円
○和室（うめ）：770円	○その他和室：240円	○食 堂：240円

2-② 県内在住の方のご利用の場合

日帰り利用における部屋使用 1 団 体 / 1 室 に つ き		本 人	左の区分のものに伴って利用する者	
			引率指導者	同 伴 者
青少年等	幼・小・中学生等	無 料	無 料	無 料
	高 校 生 等	無 料	無 料	無 料
	大 学 生 等	有 料 ※利用者の中にこの枠に当てはまる方がいらっしゃる場合、 その団体は部屋使用料が有料となります。		
	社会教育関係者			
そ の 他 ・ 一 般				

2-③ 県外在住の方のご利用の場合

県外在住の方のご利用の場合、日帰り・宿泊ともに、 <u>県外在住の方のみ</u> で部屋を使用する場合、2-①「部屋使用料金」が発生します。
--

3 活動材料費（詳しくは「利用計画書No.2」「主な活動内容」で確認してください。）

館内シート 350円	シュラフシート 220円			
野外炊飯薪 400円	ふきん 60円	クレンザー 110円	台所用洗剤 160円	
ごみ袋 20円	ガスカートリッジ 140円	プラまな板 130円	ピザ用薪 1束/10人 400円	
ウォールプレート 350円	フォトスタンド 250円	ひもパズル 200円	プラトンボ 40円	
木の輪ペンダント 50円	木の輪オブジェ 50円	神室ミニこけし 30円		
キャンプファイヤー薪 灯油付き 3,000円	ボンファイヤー薪 400円	神室のナラ炭 1,200円	ロウソク大20本 450円	
	火おこし体験セット ひもぎり式/まいぎり式各 400円	貸しつりざお 50円		

4 食事代

館内食（食堂）	朝食（牛乳つき）	昼食	夕食
	480円	620円	700円

場所	時間	メニュー	飲み物	価格	材料・副菜等 ※市況により材料が変わることがあります。
野外炊飯	朝食	ハムエッグ	牛乳	450円	米・ハム・たまご・しょうゆ小袋・デザート
		神室ドッグサンド	牛乳		パン・ケチャップ・卵・粗挽きフランク
		炊き込みご飯	スープ		米・炊き込み具・ツナ・野菜・マヨネーズ
	昼食・夕食	ポークカレー	緑茶A	600円	米・豚肉・野菜・カレールウ・福神漬・デザート
		神室焼肉定食			米・豚肉・野菜・マヨネーズ・調味料・デザート
		神室焼きそば			焼きそば・豚肉・野菜・デザート
		豚丼			米・豚肉・野菜・糸こんにゃく・紅しょうが・デザート
		神室ハンバーグ			米・合挽肉・卵・野菜・デザート
	昼のみ	サラミピザ	紙パック	650円	強力粉・薄力粉・ピザソース・チーズ・サラミ・野菜
	朝昼夕	お手軽中華丼/カレー丼	緑茶A	500円	米・レトルト（中華丼またはカレー）・デザート
館内体験	昼のみ	手打ちうどん	なし	650円	中力粉・おかず（打ったうどんは、厨房職員が茹でて、おかずとともに食堂にて提供します）

	メニュー	飲み物	価格	材料・副菜等 ※市況により材料が変わることがあります。
弁当	携帯行動食	緑茶A	450円	パン2個・ソーセージ
	神室弁当（はし付）		600円	ごはん・梅干・焼魚・揚げ物・ウインナー・卵焼き・漬物等
	ハンバーグ弁当（はし付）		700円	ごはん・ハンバーグ・サラダ等
	おにぎり弁当		500円	おにぎり2個・から揚げ・ゼリー ※追加おにぎり1個80円
	めんご弁当	なし	250円	おにぎり1個・から揚げ・ゼリー ※追加おにぎり1個80円

メニュー		飲み物	価格	材料・副菜等 ※市況により材料が変わることがあります。
季節メニュー	いも煮（野外炊飯）	緑茶A	700円	里芋・牛肉・ねぎ・こんにゃく・きのこ・調味料
	おしるこ	なし	150円	白玉・あずき ※野外食として容器・スプーンが必要な場合は料金別途。
	玉こん		100円	
特別食（利用者の要望に応じて）			要相談	日程や利用団体の状況等によってご要望に応じられない場合があります。

	メニュー	価格		メニュー	価格
紙パック	牛乳	130円	ペットボトル	スポーツ飲料	150円
	緑茶A			緑茶B	
	ウーロン茶A			ウーロン茶B	
	オレンジジュース			水	
	アップルジュース			麦茶	

※ わり箸が必要な場合、有料となります。（1膳10円）

※ 弁当を注文した場合、弁当のカラ等を入れるごみ袋を準備してください。

※ 野外炊飯では、活動に必要な薪代やガスカートリッジ代等、別途経費がかかります。

6. 自然の家での生活

1 標準生活時間

6:00	7:00	7:30		12:00		17:00	17:30	18:30		21:30	22:00
起	朝 の 集 い	朝 食	活 動	昼 食	活 動	代表者打ち合わせ	夕 食	活 動	入浴時間 18:30～21:30	就 寝	

2 入退所、代表者打ち合わせ

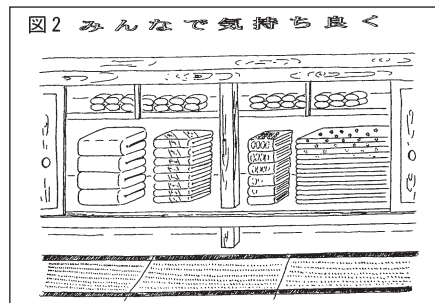
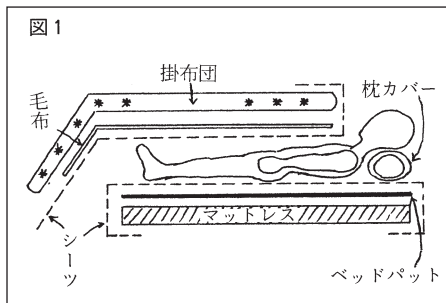
- (1) 到着後、代表者の方は事務室へお越しください。(利用人数と宿泊室、宿泊者名簿訂正版、プログラム、支払い形態の確認)
- (2) 入退所時間は、原則として午前9時～午後5時までです。
- (3) 午後5時に事務室前で、宿泊利用の引率者打ち合わせを行います。(夜・翌朝の活動、食事・入浴時間 等)
- (4) 退所日の朝に、代表者または引率者、児童生徒、及び所職員の三者で宿泊室を見回り、忘れ物、清掃、寝具の整理・整頓等の確認をします。

3 出合いのつどい・別れのつどい

- 利用団体で企画し実施してください。自然の家所長、職員が参加します。
※校旗を掲揚するポールがあります。入所時に、ぜひ、掲揚してください。

4 就寝について

- (1) 「利用計画書No. 2」に必要な枚数を記入し、事前に提出してください。館内泊の場合はシーツ一式(シーツ2枚、枕カバー1枚)、野外泊の場合はシュラフシーツ1枚が必要です。料金は6ページをご覧ください。
- (2) シーツの貸し出しと返却について
【貸し出し】 宿泊棟2階リネン室(団体引率者が確認してください。)
【返 却】 宿泊棟1階リネン室(シーツ・カバーはたたまずに、黄色の袋に入れてください。)
・野外泊の場合も、宿泊棟2階からシュラフシーツを貸し出します。返却は、1階ピロティ、または宿泊棟1階リネン室の黄色の袋にたたまずに入れてください。
- (3) 布団の敷き方について



- (4) 枕は、そば殻入りですので、アレルギーの方は事前にご相談ください。
- (5) シーツやシュラフシーツ、枕カバー、布団、マットなどを汚した場合は、事務室に報告してください。程度によってクリーニング代を請求させていただく場合があります。

5 館内食について

- (1) 「食事申込書」の事前提出について
 - 各食事の食数・入所日午後以降に必要な飲み物と数量を記入し、利用3週間前までに提出してください。
 - 休所日明けの昼食については、食材納品の都合により、館内食は注文できません。(弁当は可)
- (2) 食事時間
 - 朝食7:30～ 昼食12:00～ 夕食17:30～
- (3) 食堂の座席数は96席(対面方式)です。複数の団体が利用する場合は、調整が必要となることがあります。「OPEN/CLOSE」表示をご確認の上、時間厳守で利用してください。
- (4) 食堂の利用の仕方
 - ① 宿泊棟の洗面所で手を洗ってから食堂を利用してください。
 - ② カウンターからセルフサービスで配膳・片付けをしてください。
 - ③ 団体の引率者は、最後に食堂内を点検し、忘れ物の有無を確認してください。
- (5) その他
 - ① 食物アレルギーがある場合、食事申込書の備考欄に記入してお知らせください。原則は除去食対応となります

- が、安全管理上、利用の3週間前までに自然の家栄養士との事前相談を必ず実施してください。
- ② 飲食物等の持ち込みは、原則禁止としています。
 - ③ 滞在期間中に食数変更がある場合、確定した段階で、速やかに事務室へ報告してください。

6 野外炊飯について

- (1) 「食事申込書」の事前提出について
 - メニュー名と食数、必要な飲み物を記入し、利用3週間前までに提出してください。館内食分と一緒に記入してください。
- (2) 野外炊飯用具について
 - ① たわし、スポンジ、洗剤、ゴミ袋（透明）、ふきん、まな板等は、持参してください。洗剤、ゴミ袋、ふきん、まな板は、自然の家で購入することもできます。
 - ② 野外炊飯のメニューに箸は付きません。野外炊飯用具にはスプーンが入っています。箸が必要な場合は持参するか自然の家で購入してください。
 - ③ 野外炊飯用具と食材は、6人グループ編成を原則とします。増減がある場合は、申し込み時に相談ください。食材分け体験を含めた活動もできます。
 - ④ 野外炊飯庫から炊飯セットを借りるときは、指示された番号のコンテナを運んでください。
 - ⑤ 野外炊飯用の薪は1班で1束必要です。「利用計画書No. 2」に記入してください。
 - ⑥ ピザ用の薪は10人単位で1束必要です。「利用計画書No. 2」に記入してください。
 - ⑦ 衛生管理上、食材を持ち込んだ調理や食事は禁止しています。
- (3) 食材の受け渡しについて
 - ① 野外炊飯食材の受け取り時間
【朝食 6:30～6:45】【昼食 10:00～10:15】【夕食 15:00～15:15】
※当日、予定時刻より遅れる場合は事務室に連絡してください。
 - ② 食材の受け取り場所は、1階ピロティ奥から階段を上った厨房裏口「野外炊飯用食材受け渡し場所」です。
 - ③ 厨房から受け取った食材を「持ち出し用カゴ」に入れ替えて、キャンプ場まで運んでください。調理後に、調味料（醤油・サラダ油・塩・コショウ等）が入った容器を「野外炊飯用食材受け渡し場所」に返却してください。
- (4) 後片付け
 - ① 野外炊飯用具をきれいに洗い、水分をふきんで拭き取り、十分に乾かすか、キッチンペーパーなどで水気をしっかり取ってください。食器の数を確認して自然の家職員の点検を受けてから、野外炊飯庫へ返却してください。（洗い残しや拭き残し、汚れがある場合は、洗い直しをしてもらいます。）
 - ② キャンプ場の水場の「残菜受け排水マス」を必ず掃除してください。
 - ③ 薪の燃えかす・キャンプファイヤーの燃えかす等は、完全に消火したことを確認し、残木置き場に運んでください。
 - ④ ゴミの分別について
 - ・生ゴミ⇒袋に入れてゴミ集積所・青いポリバケツの中へ
 - ・燃やせるゴミ（プラスチックトレイ等）⇒袋に入れてゴミ集積所へ
 - ・缶（缶詰め）⇒洗って袋に入れ、ゴミ集積所の裏へ
 - ・ペットボトル⇒袋に入れてゴミ集積所の裏へ※自然の家で受け取った食材と飲み物は、分別して捨ててください。
※ゴミ集積所で回収できるのは、自然の家で購入したものだけです。利用者が持ち込んだものから出たゴミは、すべてお持ち帰りください。

7 弁当について

- (1) 「食事申込書」に弁当メニュー名と食数、必要な飲み物を記入し、利用3週間前までに提出してください。メニューや受け取り時間については、事前にご相談させていただきます。（「食事申込書」には、館内食・野外炊飯・弁当をまとめて記入してください。）
- (2) 休所日明けの昼食の弁当については、午前11時以降の受け取りとなります。
- (3) 弁当の受け取り場所は、1階ピロティ奥から階段を上った厨房裏口「野外炊飯用食材受け渡し場所」です。
- (4) 弁当を注文した団体は、透明なゴミ袋を持参してください。食後に「生ゴミ」と「燃やせるゴミ」を確実に分別し、持参したゴミ袋に入れ、敷地内のゴミ集積所へ運んでください。

8 清掃について

「合い言葉 来た時よりも美しく」

- (1) 清掃場所と方法
 - ・宿泊室及び宿泊室前の廊下の掃除は、宿泊室または廊下に備え付けのほうきで掃き掃除をします。
- (2) 清掃時のゴミは、2階ピロティにある青いポリバケツに分別して捨ててください。
- (3) 団体や個人が持ち込んだものから出たゴミは、すべてお持ち帰りください。
- (4) ボランティア活動として宿泊室以外の場所を掃除する際は、場所と掃除方法を自然の家職員にご相談ください。

9 入浴について（宿泊棟 1階）

- (1) 浴室・・・オリオン 20名（シャワー7個）、ペガサス 15名（シャワー5個）
 - 利用団体の男女比により、浴室の場所が決まります。
- (2) 入浴時間・・・18：30～21：30（団体引率者を含む）
 - 複数の団体が利用する場合は、指定された時間内で入浴してください。
- (3) 浴室にシャンプーやせっけんはありませんので、持参したものを使用してください。
- (4) ヘアドライヤーの使用は、脱衣室を含め1室1台までとしています。2台以上を同時使用した場合、各階のブレーカーが落ちます。
- (5) 団体の引率者は、最後に浴室内の椅子や洗面器の整理整頓、足ふきマットの片付け、忘れ物の有無を確認してください。
- (6) 野外泊の場合は、湯冷め防止のため原則として入浴を遠慮いただきます。ただし、野外で2泊以上する場合は、シャワー使用の対応をさせていただきます。

10 支払い方法

利用最終日の翌日から1週間以内に指定する口座にお振込みください。振り込み手数料は、利用者負担となります。なお、利用日に現金での支払いも可能です。

11 安全対策について

- (1) 利用者の安全対策
 - ・野外活動では長袖・長ズボン・帽子の着用など、安全対策を行ってください。
 - ・自由時間などに館内での事故防止のため、廊下や部屋を走り回ったり、階段で遊んだりしないようにしてください。
 - ・体調不良や疲労、寝不足は熱中症等の発生リスクを高めます。団体代表者や引率者は、利用者の体調を把握し、活動中のこまめな水分補給と休憩を行うなど体調管理についてご指導ください。また、自然の家では、「暑さ指数に応じた活動実施基準」を設定し安全な活動サポートを行うとともに、7～9月の期間はWBGT計による計測と数値の掲示を行っております。暑さを避けた活動計画について職員にご相談ください。
 - ・利用者玄関前は、子どもたちの活動場所です。車でお越しの際には、第1・第2駐車場をお使いください。
 - ・冬季間利用される方は、1階ピロティ屋根からの落雪にご注意ください。また、雪で道幅が狭くなっていますので、車やバスとすれ違う際はご注意ください。
- (2) 急病・事故等への緊急対応
 - ・活動中や自然の家滞在中にけが人や病人が出たときは、必ず事務室に連絡してください。（午後10時以降は、宿直室へ連絡してください。）
 - ・状況により、応急処置及び休養のために保健室を利用することができます。職員にお申し出ください。その際、「保健室使用簿」に記入してください。なお、ベッドを使用する場合には別途シーツ代がかかります。
 - ・緊急時の搬送は団体対応になります。万が一に備え、医療機関への搬送用緊急車両を準備してください。
 - ・AEDは、食堂前の廊下壁面に設置しています。

病院の電話番号

町立真室川病院 62-2251 62-2211 県立新庄病院 22-5525

- (3) 災害時の緊急対応
 - ・自然の家職員は、災害等緊急時において、真室川町、医療機関、関係機関等と協力的確に対応を図り、緊急時に適切な対応が図れるよう、利用者の避難、誘導、安全確保及び必要な通報等を行います。万が一の地震や火災等に備えて、非常口と避難経路を確かめておいてください。非常の場合には、職員の指示に従い、敏速に行動してください。
 - ・真室川町に注意報、警報が発令された場合には、利用者へ直ちにお知らせします。

12 その他

- (1) 敷地内は、全面禁煙です。
- (2) 他の利用者の迷惑となる行為は厳に慎んでください。就寝後も含めて、利用する皆さんが気持ちよく生活できるようにしてください。また、自然の家の施設・設備を破損又は亡失した場合、団体代表者の方にその責任を負っていただきます。ご承知おきください。
- (3) 寝具類を汚した場合は、事務室まで報告してください。程度によってクリーニング代を請求させていただく場合があります。
- (4) 貴重品の管理は、各団体で行ってください。
- (5) 滞在期間中に利用者の出入りがある場合や利用者以外の方（教員・保護者の方など）が来所する場合、緊急時の人員確認のため必ず事務室へお知らせください。また、来所の際には事務室に寄ってからお入りください。

7. 自然の家を有効に使っていただくために

～豊かな体験を通して学び、感性を育むためのプログラムづくり～

1 目的・目標・手段を明確にする

「目的」→育てたい資質・能力 「目標」→具体的な姿 「手段」→様々な体験活動を組み合わせたプログラム
「何のために（目的・目標）、どの活動（手段）を体験させたいのか」という考えを明確にしてプログラムを組むことが、自然の家での体験活動をより効果的なものにつな갑니다。

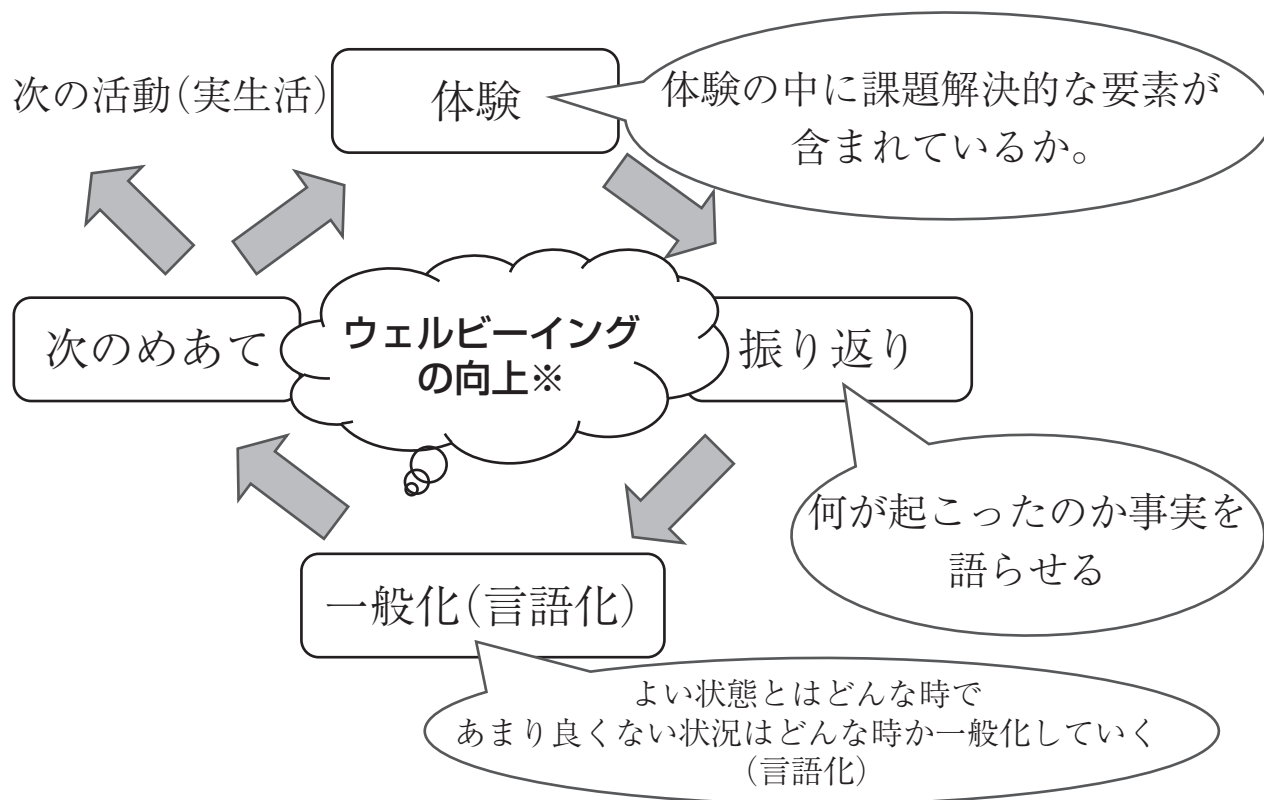
2 「体験学習法」の考え方を活かしてプログラムをつくる

「体験学習サイクル」→体験を通して得た「学び」を、「ふりかえり」を通して日常生活に生かし、「次の体験」につないでいく学びの循環サイクル

神室では、プログラムを効果的に運営するために、「体験学習サイクル」の考え方を大切にしています。このサイクルを通して、発達段階に応じた「グループの関わり」や「個と全体の関わり」を工夫することで、個と集団の力を向上させることも期待できます。

企画・運営する側が「指導」というスタンスだけでなく、「学びの支援」といったスタンスに意識を変え、参加者の学びをファシリテート（促進）するように関わることで、より学習効果は高まります。

3 体験学習サイクル



※ ウェルビーイングの向上とは

- ・身体的精神的社会的に良い状態にあること
- ・個人が幸せや生きがいを感じるとともに取り巻く場や地域社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態

4 神室職員のサポート

- (1) 団体の依頼に応じた活動の説明と活動支援、団体指導者への助言
- (2) ガイドセミナーでの体験学習の実技研修
- (3) ねらいに沿ったプログラムづくりの相談活動

☆体験学習の指導について主体となるのは各団体の指導者の皆さんです

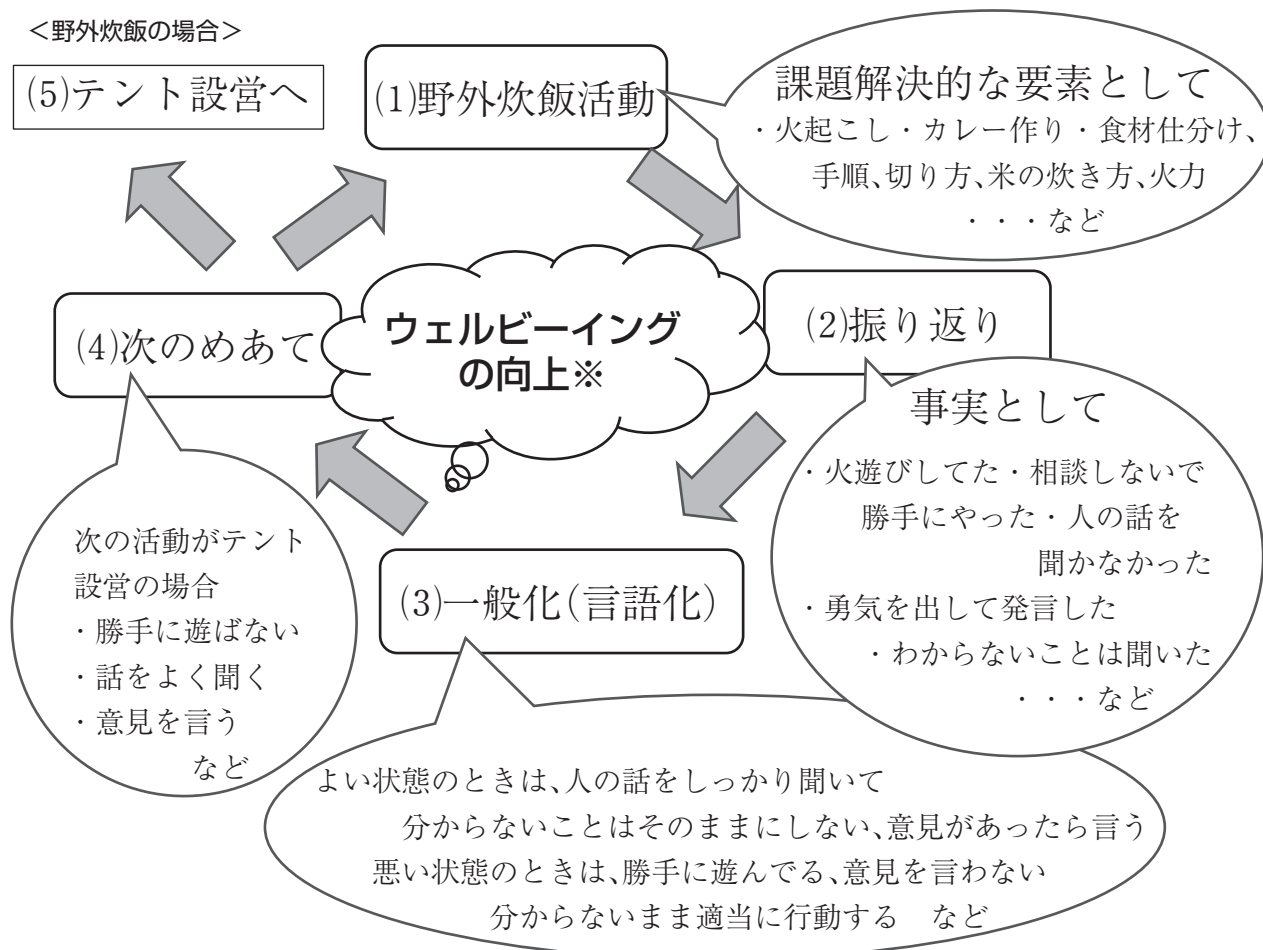
8. プログラムの作成にあたって

1 ウェルビーイングの向上をめざしたプログラム

- ・国の教育振興基本計画と第7次山形県教育振興計画のキーワードでもある「ウェルビーイングの向上」を目指すために、体験学習法を理解し、体験学習サイクルを活用してプログラムを作成していきましょう。

2 体験学習サイクルを活用したプログラムの例

<野外炊飯の場合>



- (1) 野外炊飯活動を行うとします。ここには、火おこしや火力の調整、食材の仕分けやカレーづくりの手順や切り方など様々な課題解決的な要素が多く含まれます。カレーが上手にできることよりもどのように取り組んだかを大事に見取っていきましょう。
- (2) 振り返りでは、何が起こったかという事実のみを語らせましょう。上記の図にあるように、上手いかなかった班は、「火遊びしてる子がいた」「自分勝手に進めてた」「話を聞いてくれない」などの不満も出るでしょう。
- (3) 次に振り返りで出されたことを一般化して言語化していきます。例えば指導者は「どんな時にうまくいなくて、どんな時にうまくいきますか」と問います。上記の例では、「勝手に遊んだりせずに、人の話を聞いて、相談しながら行動するとうまくいく」などの一般化ができるでしょう。
- (4) 一般化で言語化したことを次の活動のめあてにしていきます。上記の場合、テント設営が次の活動ですので、指導者から「テント設営のめあてを決めましょう」と投げかけられれば、きっと「人の話はしっかり聞く」「勝手に遊ばない」「意見があったらはっきり言う」などのめあてが出されるでしょう。
- (5) 次のテント設営でも同じように、体験－振り返り－一般化－次のめあて、という体験学習サイクルを繰り返すことによって個人と集団のウェルビーイングの向上を図ることができます。

3【主なプログラム一覧】

神室少年自然の家で主に実施される（採用する団体が多い）プログラムの一覧です。研修プログラムを作成する際の参考にしてください。前項はウェルビーイングの向上をねらいとした例を挙げましたが、下表の「ねらい・身につけたい力の例」のように他にも引率者の考えや子どもたちの実態に応じて設定可能です。ねらいに沿って「ふりかえり」のさせ方を工夫し、言語化していきましょう。

活 動 名	内 容	ねらい・身につけたい力の例	活動時間(めやす)
三滝トレッキング	三滝地区から自然の家を目指して、山道を歩く。(約7km)	・体力、忍耐力向上 ・仲間との協力 ・達成感 ・自然に対する興味関心	3～4時間
野外炊飯	様々な調理器具を用いて、自分たちの食事を作って食べる。	・炊飯活動の楽しさ、食育 ・仲間との協力 ・災害時に役立つスキル ・不便さを実感（日常生活への感謝） ・共用の用具の取り扱い	3時間
火起こし	鉈と薪を使って火を起こす。(野外炊飯などにつなげる、または同時進行)	・災害時に役立つスキル ・燃焼についての科学的な視点 ・不便さを実感（日常生活への感謝） ・創意工夫、忍耐力	1時間
古代の火起こし	木の摩擦を利用して火を起こす。	・災害時に役立つスキル ・燃焼についての科学的な視点 ・仲間との協力 ・不便さを実感（日常生活への感謝） ・創意工夫、忍耐力	2時間
テント泊	自分たちでテントを設営し、友達と一緒に一晩を過ごす。	・仲間との協力 ・友達の良さを実感 ・不便さを実感（日常生活への感謝）	設営 2時間
ビバーク泊	限られた空間の中で、一人で夜を過ごす。	・自立心、自分と向き合う ・達成感 ・孤独の実感（仲間のありがたさ）	設営 1時間30分
クラフト	自然の中のもの（木の実や小枝など）を装飾に用いて、自分だけのオリジナル作品を作る。	・創意工夫 ・思い出作り	2時間
スコアオリエンテーリング	地図を手掛かりにして敷地内のポイントをめぐり、グループごとの得点を競う。	・仲間との協力 ・コミュニケーション ・自然に対する興味関心	2時間
フリスビーゴルフ	フリスビーを用いてゴルフを行う。 ※個人戦と団体戦が選択可能	・仲間との競い合いまたは協力 ・コミュニケーション	1時間30分
川遊び	川遊びを体験する。 ※A,B,Cのポイントがあり「泳ぎ」「ダイビング」「生き物探し」などの活動が可能	・川で遊ぶ楽しさを知る ・水の流れや冷たさを実感 ・自然に対する興味関心 (地形や生き物など)	3時間

☆言語化（一般化）することの重要性

例えば…「カレーとご飯がおいしくできてよかったです。」という振り返りや感想をよく耳にしますが、それでよいのか問い直してみましょう。「よかったです」は、便利な言葉ですが曖昧で具体性がなく言語化としては弱いです。

下のポイント1～3を参考に振り返り活動で言語化を図りましょう。

ポイント1→活動がうまくできたポイントはどの場面だったか、誰がキーマンだったか、または、活動がうまくいかなかった原因はどの場面のどんな出来事だったか、事実を語ろう。

ポイント2→その時々感情はどんな感じだったか言葉にしてみよう。

ポイント3→上記を例に活動の振り返りのタイミングでメモを取るようにしましょう。

※言語化し一般化していくことを繰り返せば、ねらい達成の精度が上がります。

4【プログラムの例】（1泊2日）

1 日 目		2 日 目	
午前	入所式 シュラフ・テント設営（3 h） ※ウェルビーイングの向上をねらった振り返りと次の活動のめあて	午前	起床・洗面 シュラフ、テント干し
昼食	弁当	朝食	野外炊飯（2 h） 野炊道具、シュラフ
午後	野外炊飯（3. 5 h）		テント撤収 ※ウェルビーイングの向上をねらったためあて確認
夕食	// ※ウェルビーイングの向上をねらった振り返りと次の活動のめあて	昼食	三滝トレッキング（4 h） おにぎり弁当
夜	ボンファイヤー（1 h） ※ウェルビーイングの向上をねらった振り返りと翌日のめあて テント泊	午後	退所式 ※しっかりと言語化された感想発表

「よかった」で曖昧にしない！

5【プログラム検討シート】

自然の家で実施する体験活動プログラムは、目的達成のための手段です。上記のプログラムの例にあるように大切なのは「振り返り」です。何が起きたか事実を語り合い、個人的にも集団としても、よい状態とはどんなことなのか言語化（一般化）し、次の活動につなげていくことが目的達成に近づいていくことになります。

※必ず「振り返り」の時間を確保し、余裕のあるプログラムにしましょう。

○子どもたち（学年や学級）の現在の様子、課題点

○体験活動を通じて学ばせたいこと、気づいてほしいこと

☐体験させたいプログラム案

☐当日のプログラムの流れと振り返りの場面の設定

☐学校に戻ってからの日常生活につなげられること、意識させたいこと

☆事前の準備（下見、用具、ミーティングなど）

☆安全管理に関して

9. 主な活動内容

○自然の家で貸し出し可能な物
◆利用者（団体・個人）で準備する物
※自然の家で購入する物
★下見・実地踏査・事前指導が必須の活動
（その他の活動でもできる限り行う）

	活動名	活動内容	活動場所(所要時間)	活動時期	準備等
自然観察活動	自然観察	散策をしながら動植物を観察する。	敷地内	4～12月	○虫取り網、虫めがね ◆軍手
	星空観察	敷地内で四季折々の星や星座を観察する。双眼鏡も利用できる。	敷地内	通年	○双眼鏡
登山	登山（要相談）	最上地方の山域・山	自然の家から登山口までバスで移動 登山に要する時間 （6～12時間）	5～10月	★下見・実地踏査 【バス利用申込書提出】 ・エリアの状況や難易度、登山形態、装備等について、自然の家職員と事前相談が必要。また、天候判断等について実施前日にも相談が必要。
川遊び	Aポイント （小学校中学年以上）	（堰堤の下流） ボディラフティング、岩棚から川への飛び込み、浅瀬での魚捕まえなど、様々な川遊びを体験する。	塩根川 ＜活動場所まで徒歩20分＞ （3時間）	6～9月	★下見・実地踏査 ○ライフジャケット 沢たび ヘルメット
	Bポイント （小学校高学年以上）	（堰堤付近） ボディラフティングやダイビングなどの川遊びをする。堰堤付近（堤防の上）でのボート乗りもできる。 （堰堤の上流） ゴムボートを協力して漕ぎ、川を遡る冒険が体験できる。また、遡った場所にある切り立った高さ3mの岩から豪快にダイビングしたりボディラフティングしたりする。	塩根川 ＜活動場所まで徒歩30分＞ （3時間）	6～9月	◆水着 水中メガネ（ゴーグル） タオル ・ストーンアートをする場合 ◆クレヨン 油性ペン 等 ・たき火で暖をとる場合 ※薪 【バス利用申込書提出】
	Cポイント （幼児・小学校低学年）	川の流れに任せて遊んだり川の生き物を観察したりする。また、川原でストーンアート（川原の石に絵を描いたり色を塗ったりする活動）もできる。	小又川 （3時間） ＜活動場所までバスで15分＞	6～9月	・エリアの状況や天候判断等について、事前及び実施当日に自然の家職員との相談が必要。
	川遊びの実施手順について（自然の家2階ピロティで準備） ・川遊び前：服装や持ち物、装備3点セットの着用と点検等に15～30分程度必要。（対象年齢・人数による） ・川遊び後：装備の水洗い作業やシャワー、着替え等に30分程度必要。（対象年齢・人数による）				
雪遊び	スノーチューブすべり	スキー場でスノーチューブを使ってすべる。	スキー場	1～3月	○スノーチューブ ◆防寒着、長靴 等
	スノーランタン作り	バケツを使って思い思いに雪の城などを作り、夜にろうそくに火をつけ、その輝きを楽しむ。	所周辺	1～3月	○バケツ ○スコップ、移植べら ◆防寒着、長靴 等 ◆※ろうそく
	スノーハイキング	雪の森や山の斜面、田んぼなどを歩いたり、無雪期には行けない場所も歩いたりする。動物の足跡探し、けつぞり等の活動と組み合わせることもできる。	敷地周辺	1～3月	★下見・実地踏査 ○スノーシュー 和かんじき ストック ◆防寒着、長靴 等
	アイスクリーム作り （要相談）	雪に塩を混ぜることで温度が下がる化学変化を利用してアイスクリームを作る。	ピロティ （2時間）	1～3月	○保冷ボックス、スコップ ※材料、塩、チャック袋 ・量、料金の相談が必要。

○自然の家で貸し出し可能な物
 ◆利用者（団体・個人）で準備する物
 ※自然の家で購入する物
 ★下見・実地踏査・事前指導が必須の活動
 （その他の活動でもできる限り行う）

	活 動 名	活動内容	活動場所(所要時間)	活動時期	準 備 等
ハ イ キ ン グ ・ ト レ ッ キ ン グ	入所ハイキング	自然の家まで歩いて入所する。スタートは真室川駅や学校など、自由に設定できる。	＜参考＞ 真室川駅～自然の家 6.5 km (2時間)	5～10月	★下見・実地踏査 ◆タオル、水筒、帽子 雨具、救急箱 等 ・トイレの確保が必要
	三滝トレッキング	真室川町三滝地区をスタートし、季節に応じて移り変わる自然の様子を観察しながらアップダウンのある約7kmの山道を歩き、自然の家に戻る。	三滝コース 7 km (3～4時間)	5～10月	★下見・実地踏査 ○熊鈴、ストック ◆タオル、水筒、帽子 雨具、救急箱 等 【バス利用申込書提出】
	めんでハイキング (幼児・小学校低学年)	様々なコースを通り展望台を目指す。季節に合わせた自然観察、ネイチャーゲーム等を組み合わせることもできる。	敷地内コース (1～1.5時間)	5～11月	◆タオル、水筒、帽子 雨具、救急箱 等
	ナイトハイキング	夜に敷地内のコースを歩く。7月頃には、蛍が見えることもある。冬はスキー場周辺の幻想的な雰囲気のある森を散策できる。あえてライトを使わずに歩き、感覚を研ぎ澄ませたり、星空観察と組み合わせたりする工夫もできる。	ナイトハイキングコース (1～2時間)	通年	★下見・実地踏査 ◆懐中電灯、軍手 等 (状況により長靴) 冬：○スノーシュー 和かんじき
	スコアオリエンテーリング (小学生以上)	地図を手がかりに、敷地内に設けられたカードを制限時間内に数多く見つけ、グループごとの得点を競う。	敷地内 (1.5～2時間)	5～10月	★下見・実地踏査 ○地図、バインダー 回答用紙 筆記用具
	ネイチャープログラム	設定したテーマに沿って、自然物を生かした遊びをしながら野外を散策する。	敷地内 (1～1.5時間)	5～10月	○問題用紙 バインダー 筆記用具
野 外 宿 泊	テント泊 家型テント使用 (6人用) ドーム型テント使用 (4・6人用)	キャンプ場に、グループで協力してテントを設営し、その中に寝る。 ※60人以上の団体は家型テントの使用を推奨。	ふじの木キャンプ場 ならの木キャンプ場 スキー場 わんぱく広場 (設営1.5時間 撤収1時間)	5～10月	○テント ペグセット マット シュラフ シュラフシート (有料) ◆軍手 懐中電灯 虫よけ 等
	ソロビパーク(野宿)体験	個人ごとに作ったシュラフをブルーシートで包み、その中に入って寝る。野外の暗闇や星空の下で眠る体験ができる。 雨天時はピロティでのビパークも可能。	各キャンプ場 (設営1時間 撤収30分)	6～9月	○ブルーシート マット ロープ シュラフ シュラフシート (有料) ◆軍手 懐中電灯 虫よけ 等

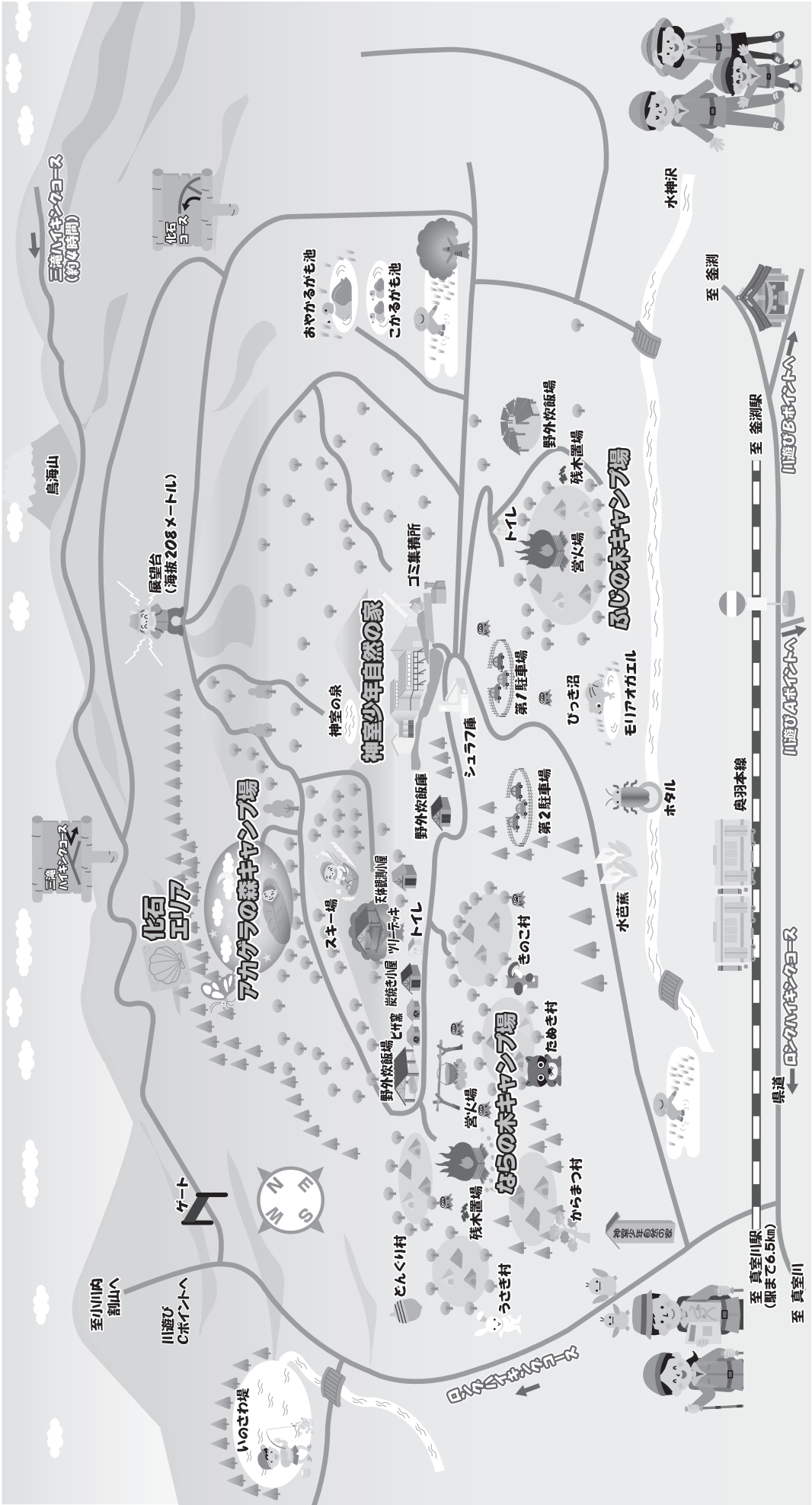
○自然の家で貸し出し可能な物
 ◆利用者（団体・個人）で準備する物
 ※自然の家で購入する物
 ★下見・実地踏査・事前指導が必須の活動
 （その他の活動でもできる限り行う）

	活 動 名	活動内容	活動場所(所要時間)	活動時期	準 備 等
炊 飯 活 動	野外炊飯	薪やガスコンロを使い、グループで協力しながら食事を作って食べる。	ふじの木キャンプ場 ならの木キャンプ場 (3～4時間)	5～10月	○野外炊飯セット ◆エプロン・三角巾 ごみ袋・軍手 新聞紙・マッチ クーラーボックス 等 ◆※洗剤、クレンザー ごみ袋、箸 (薪を使わず、ガスコンロでの実施も可。ガスカートリッジ有料) ※薪 ・1人1セットの道具を使うため、相談が必要。
	ソロ炊飯（要相談）	一人一人が自分で火をたき、ラップの中で湯煎をして米を炊いたり、レトルト食品を温めたりして食べる。防災教育の一環として活動することもできる。	ふじの木キャンプ場 ならの木キャンプ場 (3～4時間)	5～10月	○野外炊飯セット ガスコンロ ◆エプロン・三角巾・軍手 新聞紙・マッチ クーラーボックス ◆※洗剤、クレンザー ごみ袋、まな板、箸 ガスカートリッジ 発酵用の袋 ※薪（職員による火入れ～ピザ焼き）
	石窯ピザ作り体験	自分たちで生地を作り、石窯でピザを焼いてもらって食べる ※60名程度まで可。	ならの木キャンプ場 (2時間30分)	5～10月	○手打ちうどんセット ◆エプロン・三角巾 こねる袋（※） (班で1枚)
	ハーフトラム缶ピザ作り	自分たちで生地を作り、自分たちでハーフトラム缶を使ってピザを焼いて食べる。 ※30名程度まで可。	1階・2階ピロティ (2時間30分)	通年	○のこぎり、ヘルメット ◆軍手、タオル、長靴 等 ・エリアの状況や装備等について、事前に自然の家職員との相談が必要。
	手打ちうどん体験	粉を練ったり、のし棒で広げたり、包丁で切ったりしてうどんを作る。 (厨房職員が茹でておかずとともに提供する)	館内 (2～3時間)	通年	○火おこしセット (※火床は有料) ◆軍手
野 外 チ ャ レ ン ジ 活 動	フリスビーゴルフ	フリスビーを利用したゴルフで、ゴールのたらいに何回で入るか競う。個人戦、チーム戦等ができる。 (9番ホールまで)	フリスビーゴルフコース (1～2時間)	4～11月	○（全て貸し出し可、または常設） エクスロープ 丸太わたり ホースシュー ドラゴンブリッジ 等
	木こり・丸太切り体験 (要相談)	森林学習の一環として、コナラを中心とした二次林の密生している所を間伐する。立ち木をのこぎりで倒し、1mぐらいの長さに切って運ぶ。切った丸太は、クラフト等に使うこともできる。	敷地内 (2～3時間)	4～11月	○火おこしセット (※火床は有料) ◆軍手
	火おこし体験 舞切り式 (2名から) 紐切り式 (4名から)	火おこし器を使い、木の摩擦によって火をおこす。火をおこすことの大変さや、火のありがたみを体験したり、おこした火を次の活動に使ったりすることもできる。	ピロティ キャンプ場 等 (1～2時間)	4～11月	○（全て貸し出し可、または常設） エクスロープ 丸太わたり ホースシュー ドラゴンブリッジ 等
	神室チャレンジ ちょこっと遊び	手作りの遊び道具や自然の木々などを利用して、自然に親しみながら遊ぶ。	敷地内各所	通年	

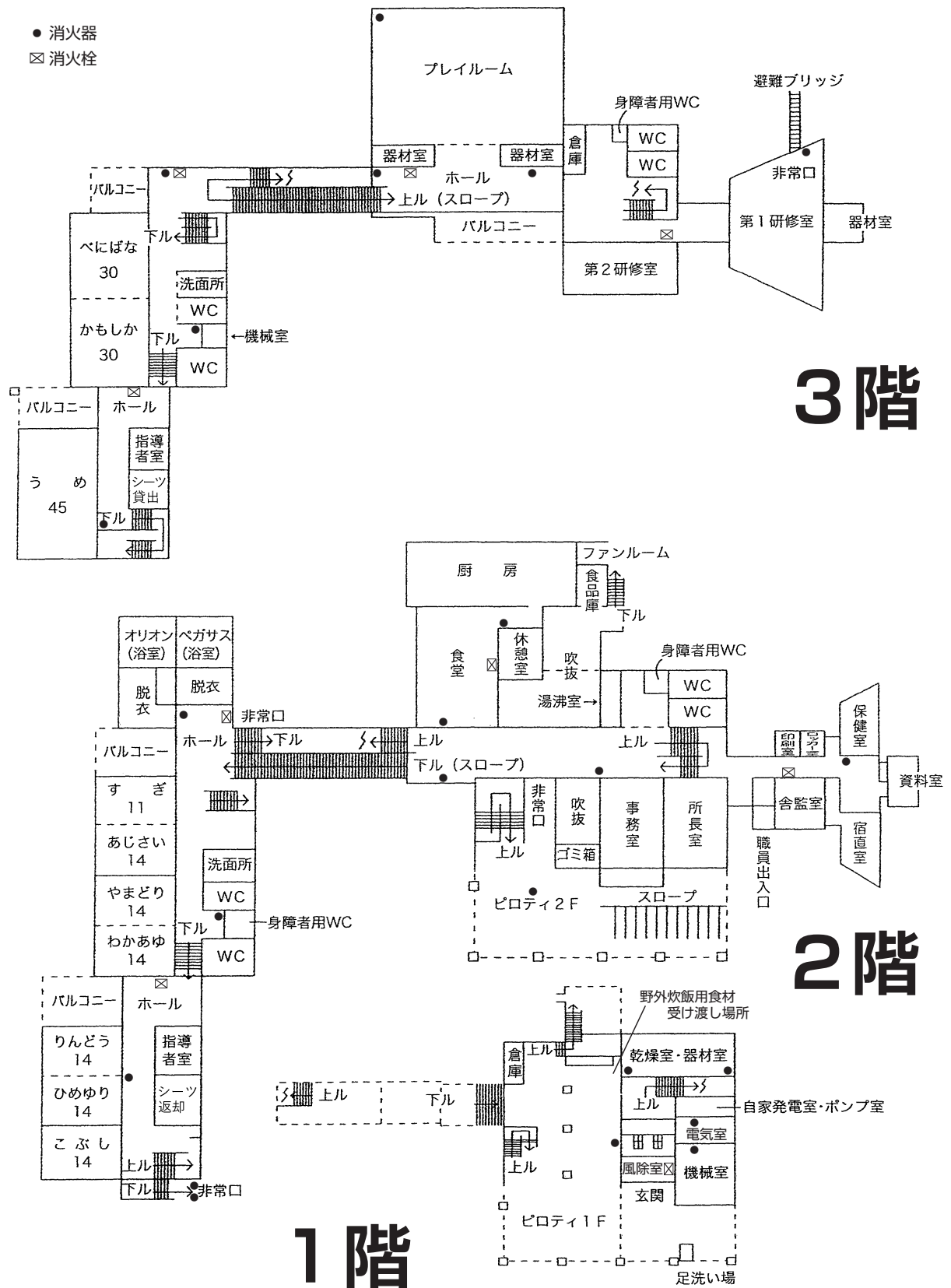
○自然の家で貸し出し可能な物
 ◆利用者（団体・個人）で準備する物
 ※自然の家で購入する物
 ★下見・実地踏査・事前指導が必須の活動
 （その他の活動でもできる限り行う）

	活 動 名	活動内容	活動場所(所要時間)	活動時期	準 備 等
館内チャレンジ活動	フォトビンゴ	ヒントの写真カードを手がかりにして館内を回る。写真と同じ場所に隠されたマークを見つけ、カードのビンゴを完成させる。	館内全体 (1～2時間)	通年	○解答用紙 バインダー 筆記用具
	館内スコアオリエンテーリング	館内図に貼られたマークを手がかりに、その場所を探し出しカードに書かれたクイズに答えたり、ひみつのワードを見つけたりして得点を競う。	館内全体 (1～2時間)	通年	○解答用紙 バインダー 筆記用具
	ウォールクライミング	プレイルームわきの壁面に設置されたホールドを利用して壁をよじのぼる。 (上方向に登るクライミング、横方向に渡るトラバースの2種類の遊び方ができる)	クライミング ウォール (プレイルーム脇)	通年	★事前指導 ○安全マット ・自然の家職員による事前の安全指導が必要。
	チャレンジランキング	ペットボトルダーツ、スリッパシュート、豆つかみ等のゲームに挑戦する。個人タイトル戦、班ごとの団体戦などの遊び方ができる。	プレイルーム	通年	○チャレンジランキンググッズ
	神室ドミノ2025	2025個の木製ドミノ（サイズは約7×5cm）を、自分たちでデザインを考えて並べる。	プレイルーム	通年	○ドミノ
クラフト活動	ウォールプレート (焼き板)	ガスバーナーを使って杉板の裏表をムラなく焼き焦がし、ブラシや布で磨いて、オリジナルの飾りを付ける。	ピロティ (2時間)	通年	※材料（杉板、バーナー、チェーン、ヒートン、ボンド） ◆軍手
	ひもパズル(焼き板)	焼いた杉板3カ所に穴をあけ、「木の輪切り」を2個と、ひもを使い、輪を移動させて遊ぶパズルを作る。	ピロティ (2時間)	通年	※材料 (杉板、バーナー、ひも) ◆軍手
	フォトスタンド (焼き板)	焼いた杉板に、木の実や小枝などで飾り付けをし、L版写真が貼れるスタンドを作る。	ピロティ (2時間)	通年	※材料(杉板、バーナー、コルクシート、ボンド) ◆軍手
	木の輪ペンダント	コナラ等の「木の輪切り」に草花や木の実をつけ、オリジナルのペンダントを作る。	ピロティ (1時間)	通年	※材料 (木の輪、ひも、ボンド)
	木の輪オブジェ	木の輪を土台にし、木の実や枝などを飾ったりしながらオブジェ風作品を作る。	館内 (1～2時間)	通年	※材料（木の輪、ボンド）
	神室ミニこけし	コナラやサクラの木に顔を書き、模様を付けてミニこけしを作る。	館内 (30分)	通年	※材料（桜の枝、小刀）
	プラトンボ	プラスチック板を羽の形に切り取り、羽を曲げて、くしをさす。手で回転させて飛ばす。	館内 (1時間)	通年	※材料 (プラ版、ボンド、竹串)
交流活動	キャンプファイヤー	燃え上がる大きな炎を囲む。振り返りやグループ発表をする。	ふじの木キャンプ場 ならの木キャンプ場 (1～2時間)	5～10月	※薪 (キャンプファイヤー用)
	ボンファイヤー (たき火体験)	グループや個人ごとに薪を組み、たき火をする。振り返りやグループ発表をする。	ふじの木キャンプ場 ならの木キャンプ場 (1～2時間)	5～10月	※薪 (野外炊飯用)
	キャンドルサービス	たくさんのろうそくに火を灯して囲む。振り返りやグループ発表をする。	プレイルーム 研修室 (1～2時間)	通年	○燭台 ※ろうそく
	仲間づくり活動	グループやクラス単位で、様々なアクティビティを通して人との関わりについて考えたり、自分自身のことについて考えたりして、日常生活へ生かすきっかけを作る。	プレイルーム わんぱく広場 など	通年	○各種ゲームグッズ (持参可) ・自然の家職員との事前打合せが必要。

10. 野外活動エリア概略図



11. 館内平面図



(様式 第1号-④) 令和7年度 山形県神室少年自然の家 利用許可申請書

令和 年 月 日

神室少年自然の家
指定管理者 株式会社ひかり 殿

【申請者】
住 所 (所在地)
団 体 名
職・氏名(代表者名)

下記のとおり利用したいので申請します。

学校・利用団体名称		() 年									
利用目的(研修内容)											
引率指導者代表 氏 名 及び連絡先 ※引率指導者代表は、 滞在中、自然の家 とのやり取りの窓 口となる方		引率指導者代表		役職名 氏名							
		連 絡 先		住 所 〒 -							
		日中連絡のつく所 (携帯電話)		電 話 : - - F a x : - -							
				携 帯 : - -							
		メー ル :									
利 用 期 間	第1希望	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()						到着 時刻	午前 :		
	第2希望	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()							午後 :		
	第3希望	年 月 日 () ~ 年 月 日 ()						退所 時刻	午前 :		
									午後 :		
利用施設(室名、場所及び利用希望時間など)											
利用者区分		幼 児	小学生	中学生	高校生	大学生	引率指導者	その他 一 般	計	社会教育 関係団体	
人 員	男									1 該 当	
	女									2 非該当	
	計										
主 な 活 動 内 容											
月/日 (曜日)		朝食	午 前	昼食	午 後	夕食	夜	宿泊区分	※宿泊区分に下記の事項で 該当するものを記入して ください。 本 館 泊 ・ テント泊 ビパーク泊 ・ そ の 他 ※左記の計画覧の該当する 食事に○をつけてくださ い。 持参弁当: 持参 館内給食: 館内 野外炊飯: 野外 提供弁当: 弁当 (朝食弁当は携帯行動食のみ)		
第1日	()			持参 館内 野外 弁当		館内 野外 弁当					
第2日	()	館内 野外 携行食		館内 野外 弁当		館内 野外 弁当					
第3日	()	館内 野外 携行食		館内 野外 弁当							
同意 事項		☐ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団を利用する使用でないことを誓約します。(同意する場合は、 ☐ にレ印を記入してください。) ☐ 神室少年自然の家 指定管理者 株式会社ひかりの定める「キャンセルポリシー」の内容を確認、同意の上で利用許可申請いたします。(同意する場合は、 ☐ にレ印を記入してください。)									

(注) 1 年間、複数回利用する場合は、1回ごとに利用許可申請書を提出してください。
2 同意事項について確認するため、山形県警察本部長に申請者の住所、氏名その他の申請書に記載されている情報を提供して、その意見を聴くことがあります。この場合において、必要がある場合は、申請者の生年月日等の個人情報を確認することがあります。

(備考) 特に希望する事項(活動内容・所バスの利用)等があれば、空欄に記入してください。

団体名 () 年 引率指導代表 氏名

住 所 〒 ()

連絡先 電話 - - FAX - -
携帯電話 ※必要があれば 誰の【 】 番号【 】

1. 活動のねらい

2. 利用期間 月 日 () ~ 月 日 () 【泊 日】
到着時刻 (:) 退所時刻 (:)

3. 利用人数

区分	乳 幼 児			小 学 生						中学	高校	大学	社会教育 関 係 者	その他 一 般	引率指導者	同伴者	合計
	年少以下	年中	年長	1年	2年	3年	4年	5年	6年								
男																	
女																	
計																	

上記の人数の内宿泊人数【 】人

(○で囲む)

4. 交通手段 ☐ 自然の家のバスを ☐ 申込済み ☐ 利用しない ※バスを利用する場合は申込書が必要。

自然の家のバスを利用しない場合の交通手段 (行)【 】→自然の家 (帰)自然の家→【 】

5. 料金支払いについて (該当するものに○印)

支払い方法	() 退所時に現金で支払う	() 後日 銀行に振り込む
領収書形態	() 利用者全員一緒	() 指導者と利用者別々

6. 活動プログラム

時刻	月 日 ()				月 日 ()				月 日 ()				時刻
	活動内容	場所	依頼	雨天時	活動内容	場所	依頼	雨天時	活動内容	場所	依頼	雨天時	
6:00													6:00
7:00													7:00
8:00													8:00
9:00													9:00
10:00													10:00
11:00													11:00
12:00													12:00
13:00													13:00
14:00													14:00
15:00													15:00
16:00													16:00
17:00													17:00
18:00													18:00
19:00													19:00
20:00													20:00
21:00													21:00
22:00													22:00
宿泊に○を	館内	テント	ソロビバーク		館内	テント	ソロビバーク		館内	テント	ソロビバーク		宿泊に○を

活動プログラム記入上の留意点

○館内での食事は朝食が7:30 昼食が12:00 夕食が17:30となります。

○各活動について導入説明を依頼する場合は、「依頼」の欄に○をつけてください。(17:15以降の依頼はお受けできません。)

利用団体名 ()

7. 宿泊用具の使用数

用 具	必 要 数	料 金	備 考
6人用家型テント	張	な し	テント1張につき、ポール①・グランドシート①・銀マット②・ペグ1缶がつきます。
4人用ドームテント	張	な し	テント1張につき、グランドシート①・銀マット②がつきます。
6人用ドームテント	張	な し	テント1張につき、ポール①・グランドシート①・銀マット②がつきます。
野宿用ビバークシート	枚	な し	ビバークシート1枚につき、ミニグランドシート①・PPロープ①・小石①がつきます。
シュラフ・シュラフシート	人分	220円	シュラフ1枚・シュラフ用シート1枚のセットで1人分です。
館内泊用シート	人分	350円	館内泊用シート2枚・枕カバー1枚で1人分です。

8. 野外炊飯用具の使用数

用 具	必 要 数	料 金	備 考
野外炊飯用具一式	セット	な し	1班で 6人用
野外炊飯用薪	束	400円	1班1回の野外炊飯につき、1束基準
ふ き ん	枚	60円	自然の家で購入可。 ※まな板は、班で2枚程度必要です。
クレンザー	本	110円	
台所用洗剤	本	160円	
まな板	枚	130円	
ごみ袋（透明な物）	枚	20円	
ガスカートリッジ	本	140円	①ガスコンロでの調理（班で1本） ②ピザ作りで湯を沸かすために必要(団体で1本)
ピザ用薪	束	400円	10人単位で1束程度

9. 活動材料申込

	物 品	注文数	料 金	物 品	注文数	料 金	物 品	注文数	料 金
クラフトセット	ウォールプレートセット (杉板:約18cm×28cm、 チェーン、ヒートン2個、 グルーガン、ボンド)	雨	350円	フォトスタンドセット (杉板:約14cm×18cm、 コルクシート、 グルーガン、ボンド)	雨	250円	ひもパズルセット (杉板:約6cm×28cm、 ひも)	雨	200円
	プラトンボセット (プラ板、竹串、ボンド)	雨	40円	木の輪ペンダントセット (木の輪、ひも、ヒートン、 グルーガン)	雨	50円	木の輪オブジェセット (木の輪2個、グルーガン)	雨	50円
	神室ミニこけし	雨	30円						
その他	キャンプファイヤー用薪 (灯油付き)		3,000円	ボンファイヤー用薪		400円	ナラ炭		1,200円
	火おこし用火床 A (紐切り式用手作り火床)		400円	火おこし用火床 B (舞切り式用火床)		400円	ローソク大20本		450円
	貸しつりざお		50円						

※ 雨天プログラムで使用する場合は、注文数の欄の雨を○で囲んでください。

10. ご希望や配慮すべきことがありましたら記入してください。

令和7年度 山形県神室少年自然の家 食事申込書

株式会社 ひ か り 殿

記入日 令和 年 月 日

利用団体名

引率指導者代表 氏名

支払方法 (○で囲む) 振込 ・ 現金

支払区分 全員一緒 ・ 利用者と指導者と別

【請求書内訳】 例：○月△日朝食 児童 55 人・指導者 3 人 など



本書に記載の「株式会社ひかりキャンセルポリシー」の内容を確認、ご同意いただいた上で食事をお申込みくださいますようお願いいたします。ご同意いただける場合は、左の□にチェックマークを入れてください。

山形県神室少年自然の家の利用にあたり、下記のとおり食事の申し込みます。

記入について

1. 野外炊飯、弁当、飲み物の【 】には、メニュー表にある「メニュー名」を記入してください。
2. 「野外炊飯」と「手打ちうどん」は **1班6人**が原則です。+ () 人には、端数を記入してください。
3. 野外炊飯の食材の提供時間と場所
【朝食6:30~6:45 昼食10:00~10:15 夕食15:00~15:15】【1Fピロティ奥・野外炊飯用食材受け渡し場所】
4. 野外炊飯の (:) には、提供時間内で希望する「受取時間」を記入してください。
5. 「申込書」の提出は3週間前まで、「食事数」の変更は5日前の12:00までお願いします。ただし、5日前が休所日の場合は、その前日の12:00までお知らせください。なお、利用時には来所された人数分（途中で変更になった場合は、その時点での人数分）の食事を提供させていただきます。
6. アレルギーについては「備考欄」にご記入ください。原則として除去食となりますが、利用の3週間前までに自然の家栄養士との事前相談を必ず実施してください。その他の希望も「備考欄」に記入してください。
7. 休所日明けの昼食については、食材納品の都合により館内食は注文できません。（弁当は可）

期日		1 日 目	2 日 目	3 日 目
食事		月 日 ()	月 日 ()	月 日 ()
朝 食	館内食		() 人	() 人
	野外炊飯		メニュー名【 】() 人 (6) 人 × () 班 + () 人 食材受取時間 (:)	メニュー名【 】() 人 (6) 人 × () 班 + () 人 食材受取時間 (:)
	弁 当		【 】() 人 (:)	【 】() 人 (:)
	飲 み 物		【 】() 人 (:)	【 】() 人 (:)
昼 食	館内食	() 人	() 人	() 人
	野外炊飯 または 手打ち うどん	メニュー名【 】() 人 (6) 人 × () 班 + () 人 食材受取時間 (:)	メニュー名【 】() 人 (6) 人 × () 班 + () 人 食材受取時間 (:)	メニュー名【 】() 人 (6) 人 × () 班 + () 人 食材受取時間 (:)
	弁 当	【 】() 人 (:)	【 】() 人 (:)	【 】() 人 (:)
	飲 み 物	【 】() 人 (:)	【 】() 人 (:)	【 】() 人 (:)
夕 食	館内食	() 人	() 人	
	野外炊飯	メニュー名【 】() 人 (6) 人 × () 班 + () 人 食材受取時間 (:)	メニュー名【 】() 人 (6) 人 × () 班 + () 人 食材受取時間 (:)	
	飲 み 物	【 】() 人 (:)	【 】() 人 (:)	

備考

※アレルギーについて、その他希望など

山形県神室少年自然の家 バス利用申込書

年 月 日

株式会社 ひ か り 殿

利 用 団 体

引率指導者代表 氏名

山形県神室少年自然の家利用にあたり、下記のとおりバス利用を申し込みます。

記

1. 利 用 目 的																									
2. 利 用 期 日 お よ び 利 用 経 路	<table border="0"> <tr> <td>年 場所</td> <td>→</td> <td>場所</td> </tr> <tr> <td>月 日() 時刻 :</td> <td></td> <td>時刻 :</td> </tr> <tr> <td>年 場所</td> <td>→</td> <td>場所</td> </tr> <tr> <td>月 日() 時刻 :</td> <td></td> <td>時刻 :</td> </tr> <tr> <td>年 場所</td> <td>→</td> <td>場所</td> </tr> <tr> <td>月 日() 時刻 :</td> <td></td> <td>時刻 :</td> </tr> <tr> <td>年 場所</td> <td>→</td> <td>場所</td> </tr> <tr> <td>月 日() 時刻 :</td> <td></td> <td>時刻 :</td> </tr> </table>	年 場所	→	場所	月 日() 時刻 :		時刻 :	年 場所	→	場所	月 日() 時刻 :		時刻 :	年 場所	→	場所	月 日() 時刻 :		時刻 :	年 場所	→	場所	月 日() 時刻 :		時刻 :
年 場所	→	場所																							
月 日() 時刻 :		時刻 :																							
年 場所	→	場所																							
月 日() 時刻 :		時刻 :																							
年 場所	→	場所																							
月 日() 時刻 :		時刻 :																							
年 場所	→	場所																							
月 日() 時刻 :		時刻 :																							
3. 利 用 人 数	・ 幼児・児童・生徒 _____ 名 ・ 成人・引率指導者 _____ 名 計 _____ 名 ※定員45名（座席37名+補助席8名）																								
4. 同 乗 する 責任者氏名	※複数可																								
5. 緊急車両 について	☐ 確保可 ☐ 確保不可 （緊急時の対応 _____）																								
6. そ の 他																									

※自然の家バスを利用する場合も、団体で緊急車両を1台必ず準備してください。どうしても用意できない場合は、参加者の緊急時の医療機関への搬送について、団体で対応策を準備し、報告してください。

※バス利用申し込み前に、各市町村のスクールバスの利用が可能かどうかをご確認ください。

※バスの運行時間は、原則【8：40自然の家出発】～【17：00自然の家最終帰着】の間となっています。

メール info@kamuro-nature.jp

山形県神室少年自然の家 利用取消連絡票

令和 年 月 日

株式会社 ひかり 殿

団 体 名

引率指導者代表 氏名

担当者名

住 所

電話番号

予約期間

令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()

予定人数

(人)

下記の理由により、貴施設の利用を取消します。(当てはまる項目をチェックしてください。)

- ☐ インフルエンザ等の流行性感冒の影響
- ☐ 別の行事と重なっていたため（参加者の都合）
- ☐ 天候の影響（台風・大雪等）のため
- ☐ その他（下記に詳細を記入してください。）

宿泊者名簿

団体名	
-----	--

記入日 年 月 日

氏 名		学 年 年 令	備 考 県外在住の 方は○印	氏 名		学 年 年 令	備 考 県外在住の 方は○印
1				31			
2				32			
3				33			
4				34			
5				35			
6				36			
7				37			
8				38			
9				39			
10				40			
11				41			
12				42			
13				43			
14				44			
15				45			
16				46			
17				47			
18				48			
19				49			
20				50			
21				51			
22				52			
23				53			
24				54			
25				55			
26				56			
27				57			
28				58			
29				59			
30				60			

- 原則としてこの様式で提出してください。欄が足りない場合は、複写してください。
- 団体独自のものや「しおり」等で代用する場合、料金に関わりますので情報に遺漏のないよう記入してください。
- 名簿提出後、宿泊者に変更があった場合は、入所時に訂正のうえ再提出してください。
- 在所期間中に人数変更があった場合は、その都度必ず事務室で名簿の訂正と人数確認をしてください。

山形県神室少年自然の家 青少年等団体引率指導者名簿

記入日 年 月 日

神室少年自然の家

指定管理者 株式会社ひかり 殿

団 体 名	
利用期間	月 日 () ~ 月 日 ()

	氏 名	団体役職名	当施設利用時の 具体的な役割	実地踏査・下見 (予定)	居住地 (県内・県外)
1					
2					
3					

※ 団体役職名の例（会長・事務局長・監督・コーチ・部活動顧問 等）

※ 当施設利用時の役割の例（総括責任者・活動責任者・会計担当 等）

●この名簿は施設使用料徴収の基準になるものです。宿泊利用の場合、利用計画書など必要書類と一緒に、利用日3週間前まで指定管理者へ提出して下さい。

●スポーツ少年団、部活動、子ども会活動等で連合団体として利用する場合は、当施設利用時の引率指導者（総括責任者・活動責任者・会計担当者）が必要となります。引率指導者以外の方は、「同伴者」となります。

●団体の引率指導者は必ず本所主催の「ガイドセミナー」に参加してください。また、プログラム内容によっては「プログラム体験会」への参加による実地踏査、下見が必要です。

●団体の引率指導者は、宿泊当日午後5時からの「代表者打合せ」に出席していただきます。

令和7年度 山形県神室少年自然の家 年間受け入れ計画表

月日		上旬							中旬							下旬																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
4月	火																																
	水																																
5月	木																																
	金																																
6月	日																																
	月																																
7月	火																																
	水																																
8月	金																																
	土																																
9月	日																																
	月																																
10月	火																																
	水																																
11月	土																																
	日																																
12月	月																																
	火																																
1月	水																																
	木																																
2月	金																																
	土																																
3月	日																																
	月																																

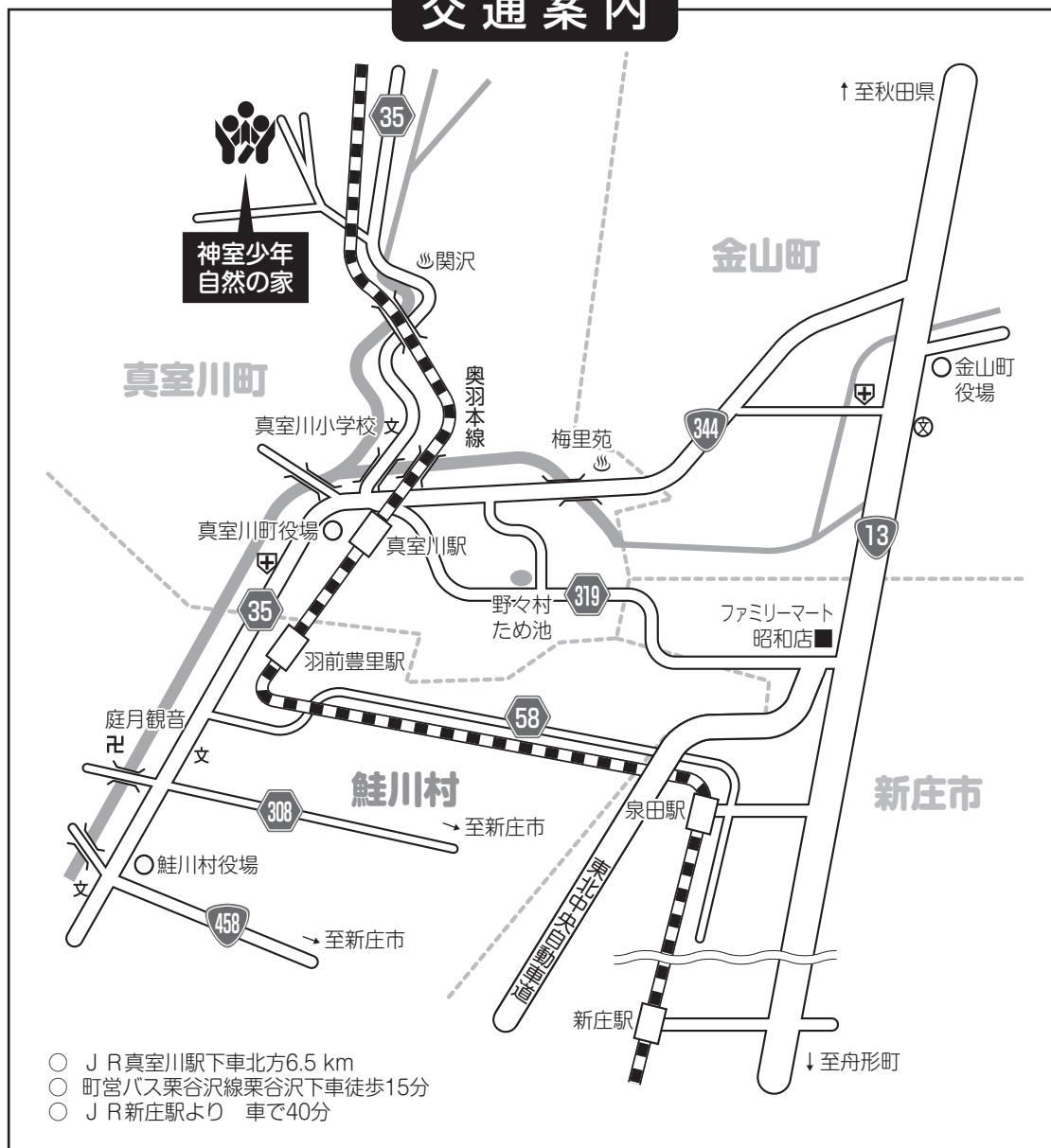
令和7年

4月	火																																
	水																																
5月	木																																
	金																																
6月	日																																
	月																																
7月	火																																
	水																																
8月	金																																
	土																																
9月	日																																
	月																																
10月	火																																
	水																																
11月	土																																
	日																																
12月	月																																
	火																																
1月	水																																
	木																																
2月	金																																
	土																																
3月	日																																
	月																																

令和8年

◆：休所日等のため利用できない日 ◇：事業や環境整備のため利用の際は事前相談を要する日

交通案内



山形県神室少年自然の家
 指定管理者(株)ひかり

〒999-5301 山形県最上郡真室川町大字川ノ内字水上山3414-5
 TEL(0233)62-2611 FAX(0233)62-2613
 E-mail info@kamuro-nature.jp
 <HP> kamuro-nature.jp/

神室少年自然の家



神室少年自然の家 HP



@KAMURO_NATURE_YEAH
 神室少年自然の家 インスタグラム